

平成27年度第3回

中小企業景況調査報告書

平成27年 10月～12月期 報告
平成27年 1月～3月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成27年10月～12月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 大多喜町商工会、袖ヶ浦市商工会、旭市商工会、野田市関宿商工会、南房総市朝夷商工会、印西市商工会、大網白里市商工会、成田市東商工会、東庄町商工会、富津市商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成27年10月～12月を対象とし、調査期間は平成27年11月6日～11月15日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業種	回答企業数	構成比
製造業	28	17.0%
建設業	29	17.6%
小売業	45	27.3%
サービス業	63	38.2%
合計	165	

(小数点1位以下四捨五入)

(2) 業種別構成

① 建設業

業種	回答企業数	構成比
総合工事業	14	48.3%
職別工事業	12	41.4%
設備工事業	3	10.3%
合計	29	

(小数点1位以下四捨五入)

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比
食料品製造業	8	28.6%
飲料・たばこ・飼料製造業	1	3.6%
木材・木製品製造業(家具を除く)	2	7.1%
家具・装備品製造業	1	3.6%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	3.6%
なめし革・同製品・毛皮製造業	2	7.1%
金属製品製造業	4	14.3%
はん用機械器具製造業	1	3.6%
生産用機械器具製造業	1	3.6%
業務用機械器具製造業	1	3.6%
その他の製造業	6	21.4%
合 計	28	

(小数点 1 位以下四捨五入)

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比
各種商品小売業	1	2.2%
織物・衣服・身の回り品小売業	6	13.3%
飲食料品小売業	22	48.9%
機械器具小売業	4	8.9%
その他小売業	12	26.7%
合 計	45	

(小数点 1 位以下四捨五入)

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比
一般飲食店	21	33.3%
宿泊業	2	3.2%
運送業	3	4.8%
自動車整備業	13	20.6%
洗濯・理美容業	12	19.0%
その他のサービス業	12	19.0%
合 計	63	

(小数点 1 位以下四捨五入)

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

“動き弱く、足踏み状態”

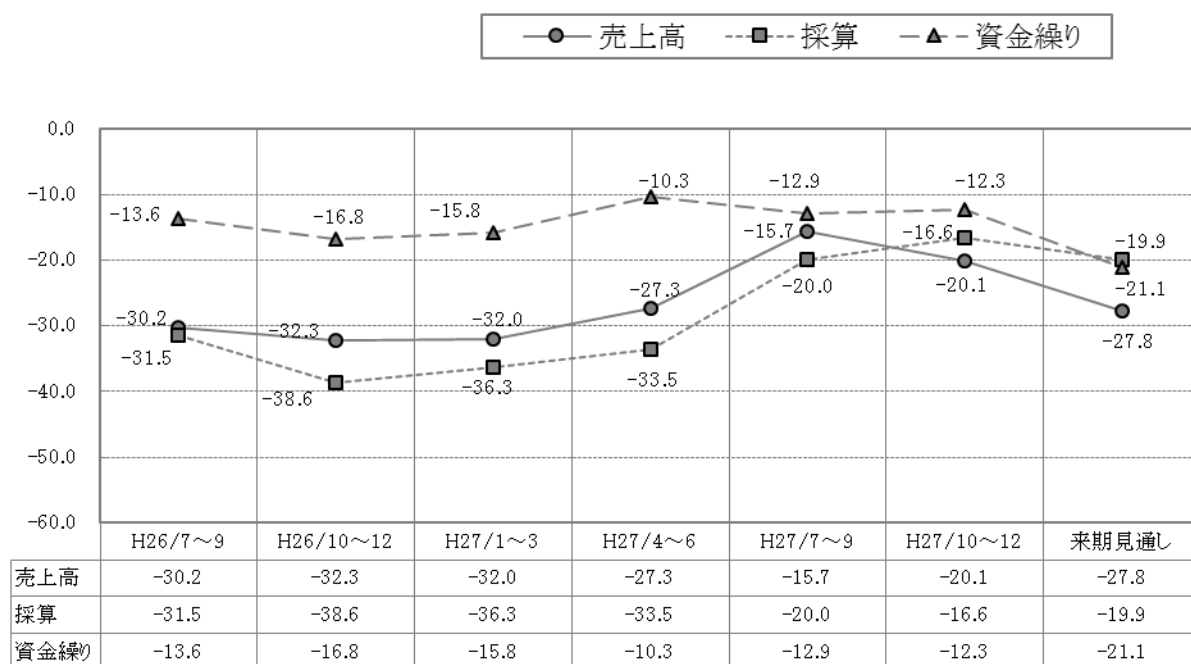
千葉県商工会地区の平成 27 年 10～12 月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図 I -1]に示したとおり、今期売上高 DI 値は-20.1、前期（平成 27 年 7～9 月期、-15.7）比で 4.4 ポイント減と 3 期連続の改善から悪化に転じている。同採算 DI 値は-16.6、前期（-20.0）比で 3.4 ポイント増と 4 期連続で改善している。また、資金繰り DI 値は-12.3、前期（-12.9）比で 0.6 ポイント増となっており、総合的には横ばいとなっている。

また、前年同期（平成 26 年 10～12 月期）調査と比較してみると、売上高 DI 値は、前年同期（-32.3）比で 12.2 ポイント増、採算 DI 値については、前年同期（-38.6）比で 22.2 ポイント増、資金繰り DI 値は、前年同期（-16.8）比で 4.5 ポイント増といずれもマイナス幅が縮小している。

今期は、行楽シーズンの到来もあり、サービス業は引き続き回復傾向にある。製造業についても売上高 DI 値は悪化したものの、採算、資金繰り DI 値は回復したことで全体的には小幅ながら回復している。建設業は 3 期連続で改善していたが、今期は悪化に転じた。小売業も 2 期連続の改善から悪化に転じたが、採算 DI 値については改善している。

また、来期（平成 27 年 1～3 月期）については、全ての業種で悪化する見通しで、製造業はわずかに、その他はやや悪化する厳しい見通しになっている。














[図 I -1]全産業主要景況項目の推移 -前年同期比DI-



Ⅱ. 各産業の景況

1. 製造業の景況

“売上高はやや悪化も、全体的にはわずかながら改善”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

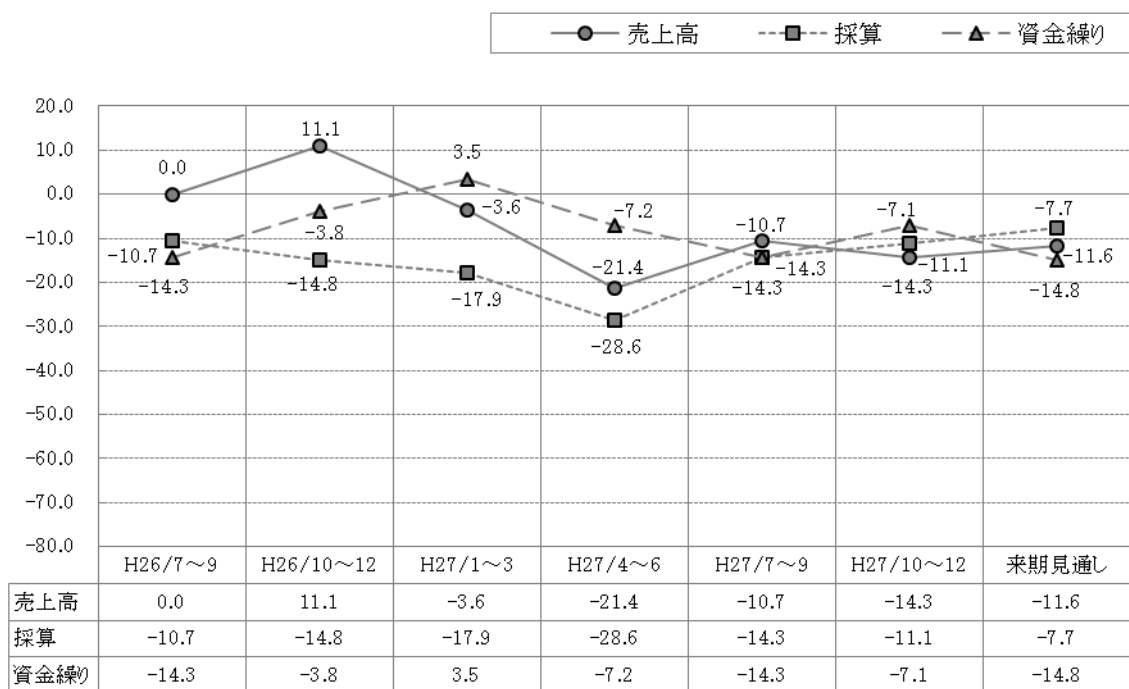
千葉県商工会地区における製造業の景況は、売上高 DI 値は-14.3 ポイント、前期と比べると 3.6 ポイント減少している。需要の停滞を経営上の問題点としてあげる事業者は増えているものの、設備操業率、受注量の減少幅が小さくなっている。また、原材料高騰や単価の低下・上昇難などによる収益構造の悪化等の状況が底を打ったことで、採算 DI 値は前期から 3.2 ポイント改善した。一方で、製品ニーズの変化を問題点とする事業者が増えており、新技術や新素材への対応、顧客接点の強化といった経営課題が確認できる。

なお、資金繰り DI 値については-7.1 ポイントで前期(-14.3)から 7.2 ポイント改善し、3 期連続で悪化していたが今期は改善に転じた。

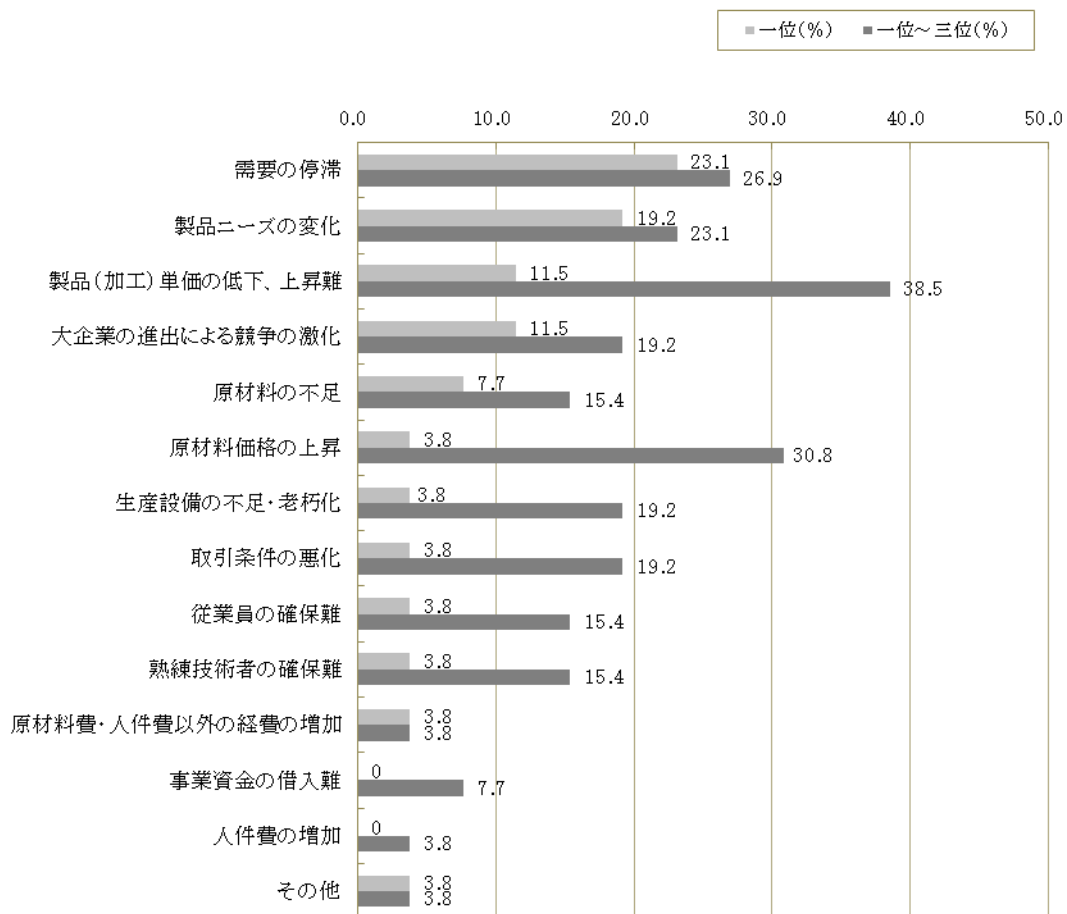
来期については、資金繰り DI 値は、やや悪化の見通しとなっているものの全体的には今期に続き、横ばいの見通しになっている。

今期は新規設備投資については 1 社が実施。内訳は、工場建物が 1 社となっている。また、来期計画は 1 社が予定しており工場建物の導入を予定している。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

“3期連続の改善から悪化に転じる”

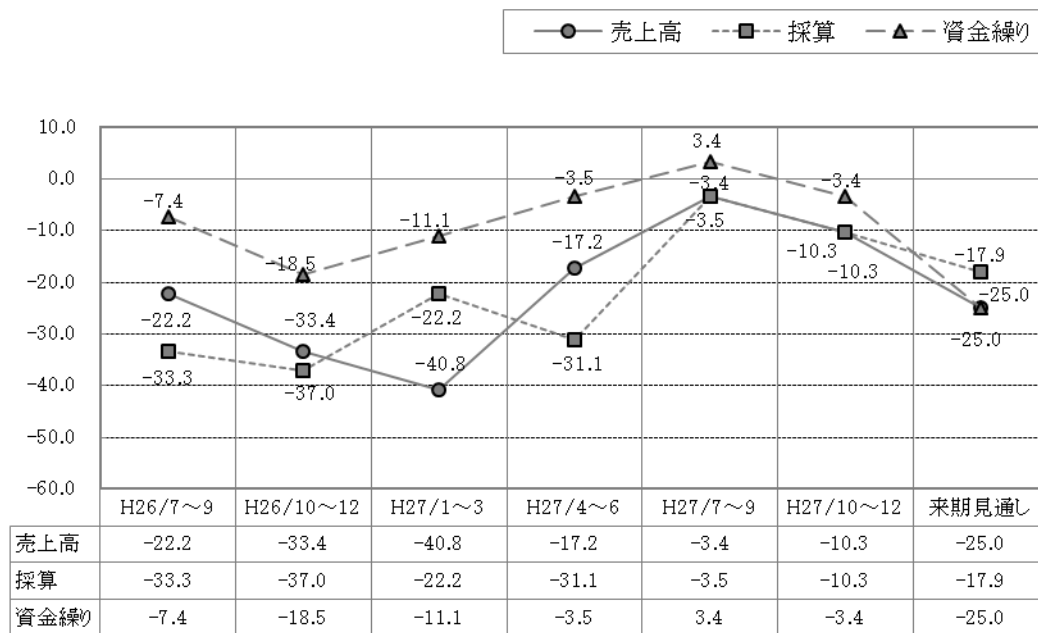
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、公共工事関連の受注が減少したこともあり、受注額は減少している。このため、売上高 DI 値は-10.3 ポイント、前期 (-3.4 ポイント) 比で 6.9 ポイントマイナス幅が拡大。また、請負単価の低下、上昇難や材料価格の上昇を問題点にあげる事業者は若干増加しており、収益構造の悪化が見られ、採算 DI 値については-10.3 ポイントで前期 (-3.5 ポイント) 比 6.8 ポイントマイナス幅が拡大している。資金繰り DI 値は-3.4 ポイントで、前期 (3.4 ポイント) 比で 6.8 ポイント悪化している。

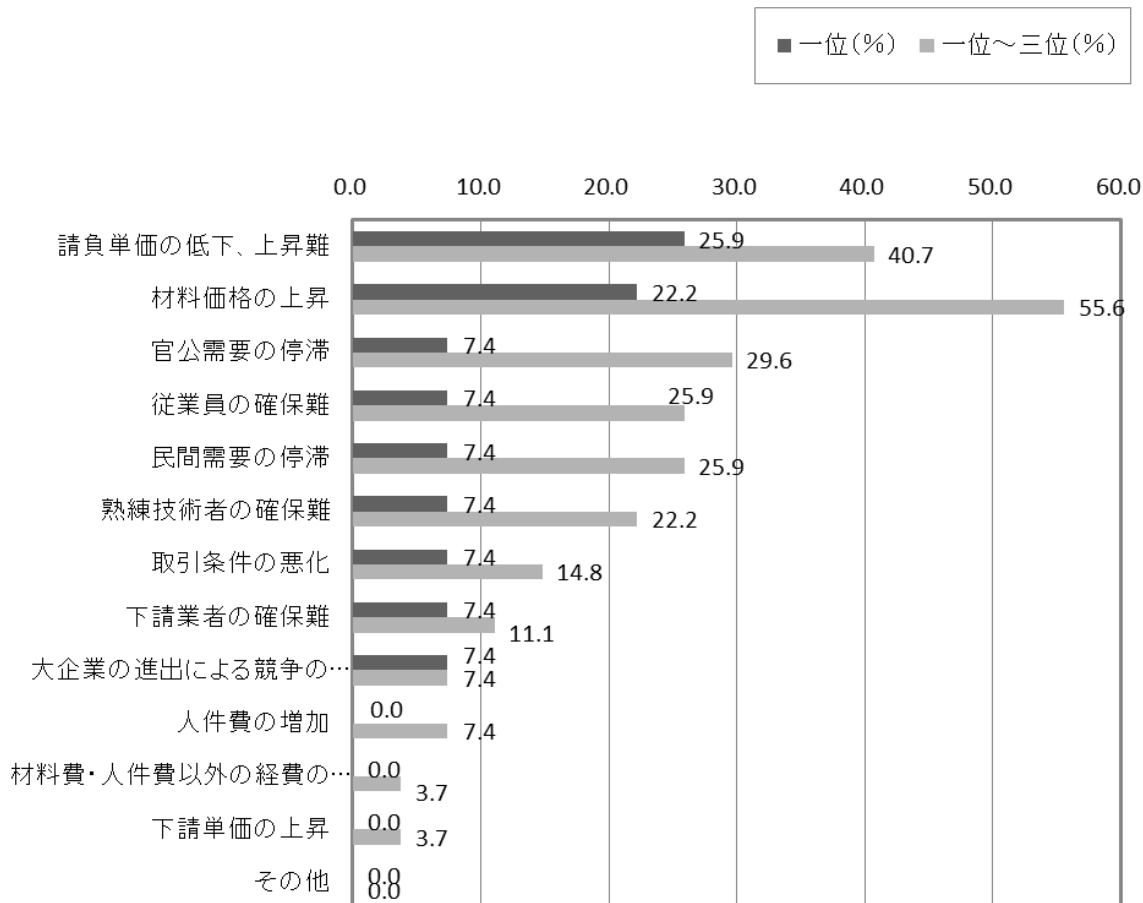
来期については、新規受注額が減少する見通しから、すべての項目について悪化すると予測しており、先行きが不透明な事業環境となっている。

新規設備投資については、2社が実施しており、建設機械とOA機器を導入。来期計画は1社となっており、車両・運搬具の導入を予定している。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“売上高が大きく悪化するも、採算はやや改善”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～  :DI 値 +10～+30
採算			 :DI 値 +10～-10  :DI 値 -10～-30
資金繰り			
総合			 :DI 値 -30～

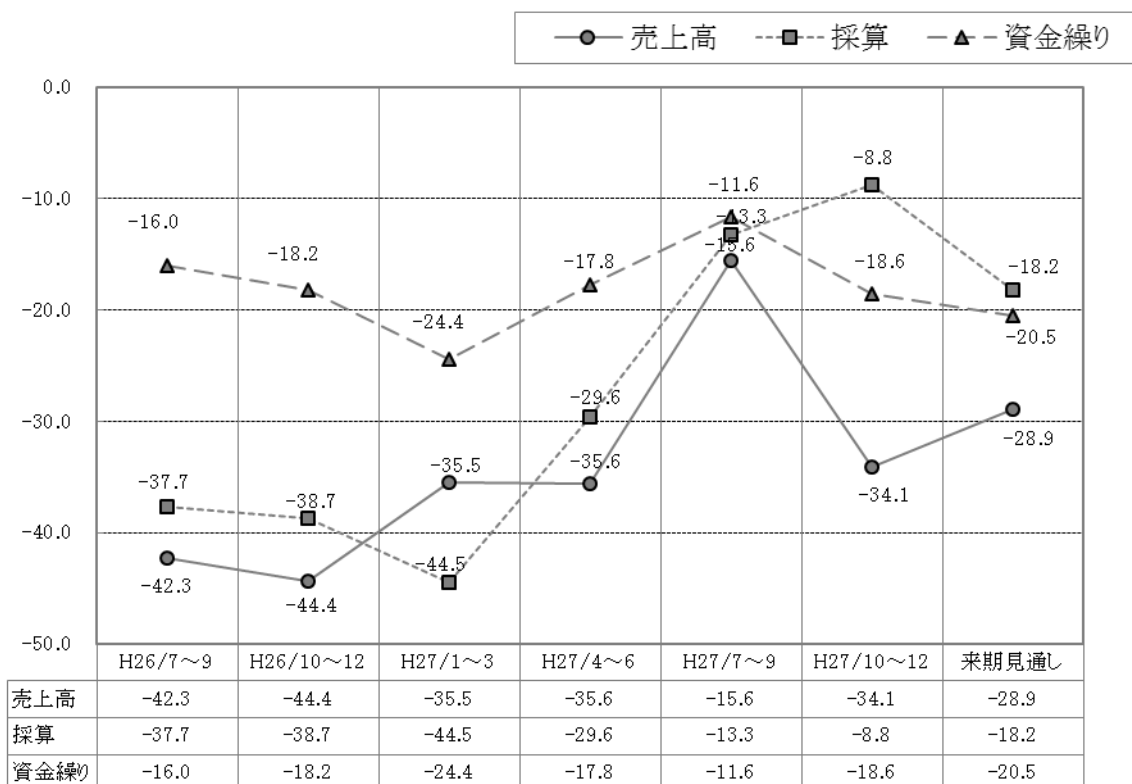
千葉県商工会地区における小売業の景況は、売上高DI値は-34.1で、前期(-15.6)よりも18.5ポイントマイナス幅が拡大。採算DI値は-8.8で、前期(-13.3)から4.5ポイントマイナス幅が縮小。新商品導入による客単価の上昇や、システム化による経営効率化を実現したとの報告もあり、個々の企業の経営努力により採算は確保されていると思われる。資金繰りDI値についても-18.6で前期(-11.6)から7ポイントマイナス幅が拡大している。

来期について売上高は改善する見通しであるが、採算、資金繰りは悪化する見通しである。

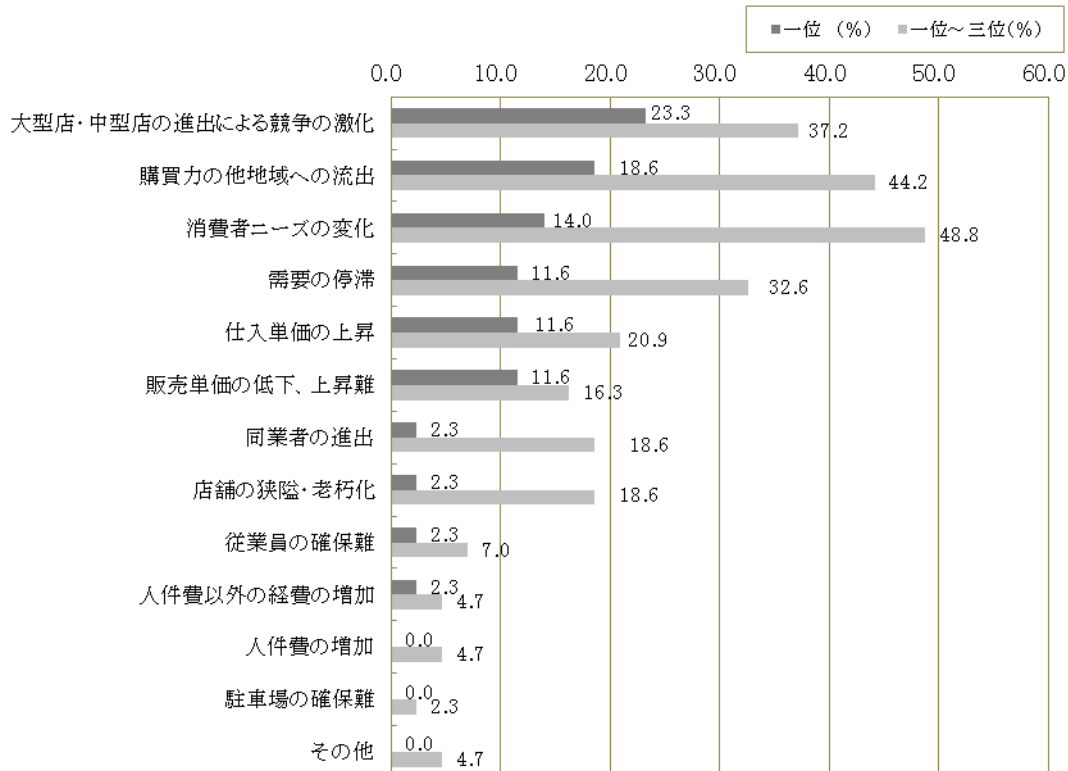
また、大型店・中型店の進出による競争の激化、購買力の他地域への流出を経営上の問題点にあげる事業者が増えている。消費者ニーズの変化や需要の停滞も相変わらず多くの事業者が問題と感じており、インターネット販売や大型店との差別化、既存顧客のリピートと新規顧客の開拓が引き続き課題となっている。

新規設備投資については、5社が実施。店舗、販売設備、車両運搬具、付帯施設を導入している。また、来期計画は6社で、店舗、販売設備、車両・運搬具、OA機器の導入を予定している。

[図II-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図II-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“緩やかな回復つつく”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

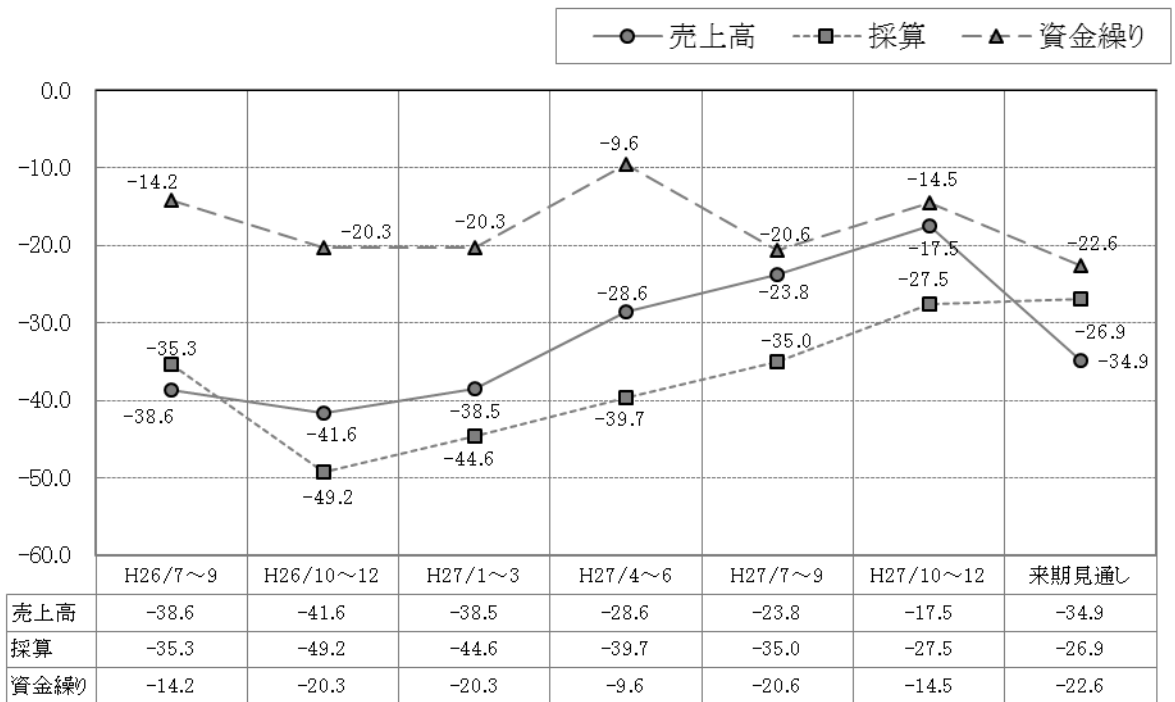
千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、観光シーズンの到来等の要因もあり売上高 DI 値については-17.5 ポイントで 6.3 ポイント（前期比）マイナス幅が縮小。採算 DI 値は-27.5 ポイントで 7.5 ポイント（前期比）のマイナス幅縮小。資金繰り DI 値については-14.5 ポイントで、前期比で 6.1 ポイントマイナス幅が縮小した。小幅な改善ではあるが 4 業種で DI 値 3 項目全て改善した唯一の業種であり、総合的に見ると直近 4 期で最も高い DI 値になっており回復基調にあると言える。

来期については、売上高 DI 値はやや悪化するが、ほぼ横ばいの見通しである。

一方で、新規参入業者の増加や利用者ニーズの変化、利用料金の低下・上昇難を経営上の課題とする事業者が増えている。材料等仕入単価の上昇や需要の停滞を問題点とする事業者も多いが前期より減少している。回復しつつあるものの、天候による客数の減少や消費税増税分の支払がやはり負担であるなどの報告もある。本格的な回復には、他事業者との差別化や消費者ニーズに対応したサービス開発等経営力向上への取組み、天候などの条件に左右されない取組みが必要である。

なお、新規設備投資については、7 社が実施。土地、建物、サービス、車両・運搬具等を導入している。また、来期計画は 6 社で、建物、サービス、車両・運搬具、福利厚生施設等の導入を予定している。

[図Ⅱ-7] サービス業主要景況項目の推移 ー前年同期比DIー



[図Ⅱ-8] サービス業 経営上の問題点の状況

